

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	医療安全	分野	統合分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	医療システムの中の危険因子を知り、看護事故防止のための知識・技術を習得する。								
回	主題	授業内容		授業方法	担当教員 (講師)				
1	看護・医療事故の概念	医療安全を学ぶ意義 医療安全の基本概念		講義	本校教員				
2		医療事故・医療過誤		講義					
3	人間の行動とヒューマンエラー	ヒューマンエラーとヒューマンファクター		講義					
4	医療安全とコミュニケーション	コミュニケーションエラーと対策		講義					
5	看護・医療事故を予防するための方法	医療事故と看護業務 看護事故の構造 看護事故防止の考え方		GW 発表					
6	看護・医療事故発生時の対処及び分析方法	注射業務と事故防止							
7		注射業務に用いる機器での事故防止							
8		輸血業務と事故防止							
9		内服与薬業務と事故防止							
10		経管栄養業務と事故防止							
11	チューブ管理と事故防止 転倒・転落事故防止 誤嚥事故防止								
12	院内での医療安全対策の実際	看護・医療事故への対処及び分析方法 リスク分析の意義と手技		GW	非常勤講師				
13		R C A (根本原因分析)		GW					
14	まとめ	講義全体のまとめ		講義	本校教員				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 医療安全 第4版 医学書院 2020							
評価方法		定期試験、グループワーク参加度、課題レポートにより総合的に評価する。							
履修上の注意点		提出物は提出期限厳守とする。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	臨床看護技術	分野	統合分野	単位数	1	時間数	15	開講	後期
科目目標	臨地実習における看護技術体験を補い、卒業時点の看護技術到達基準に到達する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	模擬患者の理解と必要な看護	模擬患者について			オリエンテーション		本校教員		
2		模擬患者に必要な日常生活援助技術			個人ワーク				
3					技術練習				
4	模擬患者への日常生活援助と診療の補助技術	状況を判断しながら、優先順位を考え看護を实践する 1) 患者に必要な観察ができる。 2) 安全・安楽に日常生活援助ができる。 3) 患者に必要な診療の補助技術が実施できる。			実技試験				
5									
6									
7									
8									
教科書、参考書等		模擬患者について、学習を深めるために必要な教科書を用意する。							
評価方法		実技試験・口頭試問							
履修上の注意点		<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬患者の状態をしっかり把握すること。 ・ 合併症の発症や状態悪化の可能性についても考えておくこと。 ・ 正常・異常の判断が確実にできること。 							